

大型クラゲの出現状況

(令和2年9月11日現在)

男鹿半島周辺の沖合に、大型クラゲがまとまって来遊する可能性があります。

漁業情報サービスセンターからの注意喚起

- ・ 日本海の沖合域にかなりの数量の大型クラゲが分布している模様であり、山陰の海域では洋上駆除を検討しているとのことです。現在の海況から、これらの大型クラゲが新潟、山形を素通りし、男鹿半島周辺の底びき網で突如出現が確認される可能性があるとのことですので、今後の情報にご注意ください。

秋田県の出現状況

- ・ 9月上旬には、男鹿半島周辺の定置網に大型クラゲが1網当たり1~7個体、底びき網では1操業当たり1~5個体の入網が確認されています。

全国の出現状況

- ・ 9月上旬には、日本海側の広い範囲で定置網を中心におおむね数個体~40個体程度の入網が報告されていますが、山陰の隠岐周辺海域では、定置網に100~300個体のまとまった入網が確認されています。

資料：国立研究開発法人水産研究・教育機構のホームページ
(<http://www.fra.affrc.go.jp/kurage/>)

(一社) 漁業情報サービスセンターのホームページ
(<http://www.jafic.or.jp/kurage/index.html>)

担当 秋田県水産振興センター

資源部 高田

電話 0185-27-3003

Fax 0185-27-3004